

# 多くの人々に支援受け治療成功…高知大3年 戸田浩司さん

# 血液の難病抑えた

## 元土佐高エース

全国で約2000人しか症例がないという血液のがんを克服した男は夢舞台でも、これまで支えてくれた人たちへの思いを忘れなかった。

「最高のゲームでした。仲間や恩師、家族に感謝したいです」

戸田さんがマウンドに上がったのは23日開幕の四国六大学野球秋季リーグの徳島大戦。4点リードの八回だった。

## 「仲間や恩師、家族に感謝したい」

湿度68%という蒸し暑さの中、戸田さんは右下手投げ特有の浮き上がるようなストリートを軸にカーブ、シンカーなどで打者を翻弄した。2回を26球、いずれも三者凡退に打ち取る。完封劇。最後の4番打者をシンカーで空振り三振に斬り、高知大は4-0で開幕戦を飾った。

「最高のゲームでした。仲間や恩師、家族に感謝したいです」

春夏合わせて甲子園に10回出場している名門、土佐高校野球部のエースだった戸田さん。大学1年の平成17年9月、40度近い高熱に襲われ「慢性活動性EBウイルス感染症」と診断された。

治療には骨髄移植が有効と分かり、土佐中学時代の野球部の恩師で土佐高校の坂本隆教諭(54)や同校野球部の仲間らが、街頭で骨髄バンクの登録

「最高のゲームでした。仲間や恩師、家族に感謝したいです」

「最高のゲームでした。仲間や恩師、家族に感謝したいです」

## 「仲間や恩師、家族に感謝したい」

湿度68%という蒸し暑さの中、戸田さんは右下手投げ特有の浮き上がるようなストリートを軸にカーブ、シンカーなどで打者を翻弄した。2回を26球、いずれも三者凡退に打ち取る。完封劇。最後の4番打者をシンカーで空振り三振に斬り、高知大は4-0で開幕戦を飾った。

「最高のゲームでした。仲間や恩師、家族に感謝したいです」

## 両親も涙の観戦

「絶対な闘病生活。戸田さんも「マウンドに立つことだけが支えでした。ベッドでも夢に見るのは活動性EBウイルス感染症」と診断された。

治療には骨髄移植が有効と分かり、土佐中学時代の野球部の恩師で土佐高校の坂本隆教諭(54)や同校野球部の仲間らが、街頭で骨髄バンクの登録

「最高のゲームでした。仲間や恩師、家族に感謝したいです」

## 「仲間や恩師、家族に感謝したい」

湿度68%という蒸し暑さの中、戸田さんは右下手投げ特有の浮き上がるようなストリートを軸にカーブ、シンカーなどで打者を翻弄した。2回を26球、いずれも三者凡退に打ち取る。完封劇。最後の4番打者をシンカーで空振り三振に斬り、高知大は4-0で開幕戦を飾った。

「最高のゲームでした。仲間や恩師、家族に感謝したいです」

「絶対な闘病生活。戸田さんも「マウンドに立つことだけが支えでした。ベッドでも夢に見るのは活動性EBウイルス感染症」と診断された。

治療には骨髄移植が有効と分かり、土佐中学時代の野球部の恩師で土佐高校の坂本隆教諭(54)や同校野球部の仲間らが、街頭で骨髄バンクの登録

「最高のゲームでした。仲間や恩師、家族に感謝したいです」

「最高のゲームでした。仲間や恩師、家族に感謝したいです」

## 「仲間や恩師、家族に感謝したい」

湿度68%という蒸し暑さの中、戸田さんは右下手投げ特有の浮き上がるようなストリートを軸にカーブ、シンカーなどで打者を翻弄した。2回を26球、いずれも三者凡退に打ち取る。完封劇。最後の4番打者をシンカーで空振り三振に斬り、高知大は4-0で開幕戦を飾った。

「最高のゲームでした。仲間や恩師、家族に感謝したいです」



八回から登板 打者6人でピシャリ

難病を克服し、大学のリーグ戦初登板を果たした高知大硬式野球部の戸田浩司投手—23日、高知市

四国六大学公式戦

# 不屈初マウンド

上原浩治(32)と木佐貫洋(27)の両投手らはドナー登録をしている。原監督は「病気を抱えながらで大変だろうけど、いいピッチングをしていると聞くところ、こちらも勇気づけられま